

27 大気第 544 号
平成 27 年 12 月 7 日

あいち環境づくり推進協議会構成員 殿

愛知県環境部長
(公印省略)

平成 27 年度 VOC 排出抑制セミナーの開催について (通知)

日頃から、本県の環境行政の推進に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、本県では、光化学オキシダントや微小粒子状物質 (PM2.5) を生成する原因物質の一つである VOC (揮発性有機化合物) の排出抑制のため、種々の取組を行っているところです。

このたび、その取組の一環として、中部経済産業局、名古屋市及び愛知県中小企業団体中央会と共催で下記のとおり VOC 排出抑制セミナーを開催します。

つきましては、同セミナーへの担当者の方の参加について、御配慮くださいますようお願いいたします。

記

1 日 時

平成 28 年 1 月 22 日 (金) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

2 場 所

中区役所ホール

名古屋市中区栄 4-1-8

3 内 容

(1) 基調講演

ア 「愛知県の VOC 排出抑制の取組等について」

(愛知県環境部大気環境課職員)

イ 「VOC 排出削減対策最新動向について」

(一般社団法人産業環境管理協会 人材育成・出版センター
所長 遠藤 小太郎 氏)

ウ 「製品含有化学物質管理のポイント ～拡大する法規制への対応のため～」 (みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第 2 部
シニアマネージャー 菅谷 隆夫 氏)

(2) 取組事例

- ア 「VOC排出削減対策事例紹介及び自動車業界の取組について」
(トヨタ自動車株式会社 プラント・環境生技部
環境技術開発グループ グループマネージャー 浜井 満彦 氏)
- イ 「VOC排出削減対策事例紹介及び印刷業界の取組について」
(富士特殊紙業株式会社 代表取締役社長 杉山 仁朗 氏)

4 その他

申込方法などの詳細については、別添のチラシを御覧ください。

担 当 大気環境課規制グループ
電 話 052-954-6215(ダイヤル)
FAX 052-953-5716

平成27年度VOC排出抑制セミナー

～ひとと地球環境に優しいVOC削減の取組を進めましょう～

光化学オキシダントなどによる大気汚染の改善を図るためには、その原因物質である揮発性有機化合物（VOC）の排出抑制が必要です。VOCは揮発性有機化合物（Volatile Organic Compounds）の略称で、塗料、印刷インキ、接着剤、洗浄剤、ガソリン、シンナーなどに含まれるトルエン、キシレン、酢酸エチルなどが代表的な物質です。VOCを適切に管理することは大気汚染防止だけでなく、職場環境の改善、悪臭問題の解消、コストの削減等の効果があります。

本セミナーでは、VOC排出抑制対策の最新動向や取組事例について紹介すると共に、製品含有化学物質の適切な管理についても紹介します。

日時

平成28年1月22日(金)
13:30～16:30 (受付:13:00から)

参加無料

場所

中区役所ホール
(名古屋市中区栄4-1-8)

定員

300名(先着順)

プログラム

(基調講演)

①「愛知県のVOC排出抑制の取組等について」

愛知県環境部大気環境課

②「VOC排出削減対策最新動向について」

講師：一般社団法人産業環境管理協会 人材育成・出版センター 所長 遠藤 小太郎 氏

③「製品含有化学物質管理のポイント ～拡大する法規制への対応のために～」

講師：みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 シニアマネージャー 菅谷 隆夫 氏

(取組事例)

①「VOC排出削減対策事例紹介及び自動車業界の取組について」

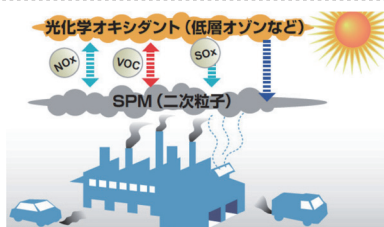
講師：トヨタ自動車株式会社 プラント・環境生技部 環境技術開発グループ グループマネージャー 浜井 満彦 氏

②「VOC排出削減対策事例紹介及び印刷業界の取組について」

講師：富士特殊紙業株式会社 代表取締役社長 杉山 仁朗 氏

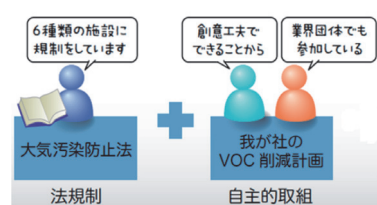
VOCをなぜ減らさなければならないの？

・VOC（揮発性有機化合物）は、大気中で光化学反応により粒子に変わったり、光化学オキシダントを生成したりします。



自主的取組の有効性

・VOCを使用する事業所の多くが中小企業で、用途も塗装、印刷、洗浄、接着など様々です。また、VOCの発生源となる工場内の工程も多様です。このため、排出量を削減するには、多様な手法を組み合わせることが効果的です。



VOC対策のメリット

●社会に貢献し、社会的評価が向上します。

●コストメリットが出ます。

●作業環境が改善します。

・大気汚染による健康被害を防止し、社会に貢献します。
・環境対策に積極的な企業であることを、社会にアピールできます。

・ムダな蒸発の防止により、原材料費を削減できます。
・廃溶剤の発生量が減少し、廃棄物処理費を削減できます。
・燃焼装置の燃料として、エネルギー利用ができます。

・作業場に漏れるVOCが減り、従業員の健康保持に貢献します。
・きれいな職場となり労働意欲がわきます。

中部経済産業局資源エネルギー環境部環境・リサイクル課
電話：052-951-2768 担当：箕浦、後藤